

みずほと一緒に 国会へ行こう会ニュース

12/07/24発行 No.49

〒100-8962 千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館1111号室
参議院代表番号：03-3581-3111
電話：03-6550-1111
FAX：03-6551-1111
ホームページアドレス
<http://www.mizuhoto.org>
E-mail：mizuho-office@jca.apc.org

社会新報 号外 発行所 社会民主党全国連合機関紙宣伝局 週刊(水曜日発行)〒100-0014 東京都千代田区永田町1-8-1 電話 代表03(3580)1171 振替 00140-1-3203 ●定価180円●1ヵ月700円●送料160円



「さようなら原発10万人集会」にて。社民党国会議員団でデモ行進をする。

社会民主主義を飛躍させるために！

福島みずほ

いま参議院の「社会保障と税の一体改革特別委員会」で、委員として、社会保障や税はどうあるべきか、消費税増税反対などについて論争をしています。国会内外で、消費税増税反対、脱原発の実現のために全力を尽くしているところです。そのための大きな国民運動もつくっていきます。

ところで、もうひとつの大きな対立軸は、新自由主義なのか、それとも雇用と社会保障を大事にする社会民主主義なのか、です。政治の中でのバランスが極端に悪くなっていて、新自由主義の考えが増えています。

来年の7月までに、衆議院選挙、都議会議員選挙、参議院選挙があります。これらの選挙は本当に大事です。いま、政治の世界で、民主党・

自民党・公明党の3党の密室談合が進んでいます。政権交代の時には、「民主党が自民党政治を変える」と言いながら、自民党と手を結び、自民党の政策を実現しようとするのは、国民への裏切りだと思います。実質的な大連立ですが、選挙後には、本当の大連立になるのではないかと危機感をもっています。そうなれば、憲法改正などあつという間になってしまいます。大政翼賛会の再来ではないでしょうか。

いま、「命が大事」「原発再稼働反対」「脱原発」「消費増税反対」「雇用や社会保障を立て直せ」「TPP 反対」などの声が満ち溢れています。市民の皆さんと力をあわせ、その実現のためにがんばります。どうか、ご支援を心からよろしくお願いします。

国会ダイジェスト

(★はコメント)



■ TPP

◆参議院予算委員会 2011年11月11日

福島みずほ：(野田首相が TPP 参加について明言しないことに関して) いや、ひどいんですよ。今夜 9 時に表明するというふうにも言われているじゃないですか。だったら国会で言ってくださいよ。私たちは国民の意思を受け止めて、総理が APEC 参加をするかどうかを、それは極めて重要なことから、重要なことは国会で言ってくださいよ。どうしてそれを外国で発表するのを私たちは日本国内で聞かなくちゃいけないんですか。記者会見だってもちろん重要です。でも、日本の国会を愚弄しているじゃないですか。国会でなぜ言わない。

◆参議院予算委員会 2012年1月31日

福島：2011 年、去年の 12 月 14 日、米国下院の歳入委員会貿易小委員会で TPP に関する公聴会が開かれました。その時の議事録がこれです。

カリフォルニア州選出の議員はこう言っています。農業、自動車、保険など多くの業界から日本が長く続けている障壁について聞いている。例えば、「カリフォルニア州北部という私の選挙区にとって非常に重要な品目である米は約 700%の関税に直面している。日本の差別的な政策に対する強い懸念に対してどう対処していくか説明していただきたい」。次席代表はこう言っています。「TPP のコンテキストの中でどのようにこれらの懸念を位置づけ、最高の形に持っていくかということだ」と、「大変感謝する」というふうに、公聴会ではそうなっています。

■ 原発再稼働・「地元の範囲」・ 原発事故資料・大飯原発破砕帯

◆参議院予算委員会 2012年4月2日

枝野幸男経済産業大臣：現時点では私も今、再稼働には反対です。

福島：京都府、京都市、大津市、滋賀県、兵庫県、これは地元でしょうか。

枝野：これは本当に本質的な話だと思ってまして、やっぱり 3 月 11 日の東京電力の事故の教訓というのは、大変広範囲にわたって万が一大きな事故が起こったら影響を及ぼすと。そうした場合には、あえて申し上げれば、日本全国にあの福島の事故は直接、間接の影響を及ぼしています。そういう意味では日本全国が地元だと思います。

★枝野大臣は「現時点では反対だ」と言っていたのに、すぐに変わったのはおかしい。原発立地自治体だけが地元ではない。「地元の範囲はどこか」は重要なのでしつこく聞いた。枝野大臣が「全国が地元である」と言ったことは大きい

◆参議院予算委員会 2012年6月13日

福島：私の責任で再稼働を判断する、責任ってどう取れるんですか、今だって取れていないじゃないか。

野田佳彦首相：責任を取るというか、責任を果たすということです。万全を期して、まずは国民の生活を守るために責任を果たしていきたいと考えております。

★原発事故について責任なんて取れない！

◆参議院予算委員会 2012年7月10日

福島：東京電力のテレビ会議システム、これは重要な資料ですが、3・11 後のテレビ会議システムの録画が公表されていません。経済産業大臣、インタビューでは、これは公開、記録を出さないほうがどうかしていると、インタビューで答えていらっしゃる。これ、経産省として出させてください。

枝野経済産業大臣：私のほうから事実上の行政指導として東京電力に求めております。東京電力においては前向きに検討をさせていただいていると報告を受けております。

◆参議院予算委員会 2012年7月10日

福島：ベントもない、耐震重要棟もない、そして津波の対策もない、ないないないない尽くし、おまけに耐震指針の見直しもないんですが、6月27日、私も超党派と渡辺満久先生と一緒に大飯原発に行ってきました。…敦賀は、ご存知、ずっと活断層じゃないかと渡辺満久先生たちが言ってきて、

2008 年、保安院が現地調査をして活断層だとなりました。新しい知見ではありません、審査が間違っていたんです。今回もやってくださいよ、大飯原発に関して。現地調査やってください。関西電力の資料を待っていたら、いつまでたっても、いつまでたってもできないかもしれない。枝野大臣、大臣としてやってください、現地調査。

■労働者派遣法改正

◆参議院厚生労働委員会 2012 年 3 月 27 日

福島：ディーセントワーク、人間らしい労働をつくっていくことこそ政治の大きな課題であるべきだと思います。それは、日本のためにも、働く人のためにも、未来のためにも必要なことで、労政審に戻して検討するときに、小泉構造改革からの転換、新自由主義からの転換をしっかりとやってくださるよう心から要請をいたします。厚生労働省、これは頑張ってくださいよ。よろしく願いをいたします。次に、特定労働者派遣事業とは、常用する労働者を派遣するということであるということとでよろしいでしょうか。

■保育園での死亡事故の究明について

◆参議院厚生労働委員会 2012 年 6 月 19 日

福島：保育所において死亡事故が起きた場合、事故調査の実施が義務付けられるべきと考えますが、いかがでしょうか。

小宮山洋子厚生労働大臣：その報告の中に事故に関する項目を含めることについては、この新たな制度（注：子ども子育て新システムをさす）の施行までに検討していきたいというふうに考えています。事故が発生した場合には、その内容や対応について都道府県に報告するよう政省令で定めることなどを検討する予定です。また、施設等で事故が発生した場合には、その情報を行政として集積することを検討しています。その分析の結果を事故の再発防止に活用する手法について検討していきたいと考えています。

★保育園でお子さんが亡くなってしまったご両親

の要請を受けて、事実の究明を求めて質問した。7 月 10 日（火）の予算委員会では、大津市中2いじめ自殺についても質問。

■障害者総合福祉法について

◆参議院厚生労働委員会 2012 年 6 月 19 日

福島：アメリカで差別禁止法を作ったリーダーの障害のある女性の話を聞いて、私はすごく感激をしたことがあります。差別撤廃にお金は関係ないと言ったんですね。それは、ある意味、差別禁止をしてどういう社会をつくっていくのかということに向かって、やはり理想を高く掲げてどうしていくかということが大事だということを言いたかったんだと思うんです。ついつい日本で議論をしていると予算が、予算が、予算がという話になるんですが、それだと何か本末転倒になってしまいうんじゃないか。そのことについて、大臣、決意を言ってください。

■原子力規制庁設置関連法案

◆参議院環境委員会 2012 年 6 月 19 日

福島：第一条に、我が国の安全保障に資するという目的が書いてあります。これは今回新たに（注：自民党・公明党案による）修正で入りまして、原子力基本法もこれによって変わるということになっています。…世界平和アピール七人委員会が…アピールを出しています。その懸念は、原子力軍事利用のオプションないしは潜在的核能力にお墨付きを与えかねないんじゃないか、あるいは原子力事故の際に安全保障を理由に国民への情報共有が図られないおそれがあるのではないかなどの理由だと思いますが、いかがでしょうか。

細野豪志大臣：私どもとしてどう解釈していくかということで申し上げますと、今回、この原子力規制委員会は、セーフティだけではなくて、セキュリティやセーフガードというものについても所管することになります。いわゆる核物質防護、そして保障措置ということになるわけですが、ここは核不拡散の観点から、もしくはテロ対策という観点から安全保障というものに深くかわりま

すので、それに加えられた文言であるというふう
に考えております。

★議員立法の過程で、「我が国の安全保障に資する」
などという文言が入った。削除すべき文言だ。

◆参議院環境委員会 2012年6月19日

福島：原子力委員会で起きている様々な問題を踏
まえれば、秘密会議は行わない、職員が電気事業者、
メーカー等外部の者と面会する際は申告する、記
録する、それを実施していなければ処分を行う等
といった厳格なルールを決めるべきだと考えま
すが、いかがでしょうか。

細野：ルールの中身はいろいろな議論があり得る
と思うんですが、何らかの内部でルールを決めて
おくべきだろうというふうに思います。つまり、
例えば、委員が複数、例えば、一例ですよ、一例
ですが、3名以上集まる場合はきちっと会議とし
て残すであるとか、そういったことのやはりガイ
ドラインというのは必要であるというふうに考
えております。

★原子力委員会が秘密会議を開いていたなどの事
実が明らかになった。原子力規制委員会や原子力
規制庁を真に独立した規制組織にするために、様
々なガイドラインが必要と質問し、言質をとった。

◆参議院環境委員会 2012年6月19日

福島：これはきちっと新たな耐震指針を決め、き
ちっとしない限りバックフィットは十分ではない、
だから再稼働を判断できないということによろし
いですか。

近藤昭一衆議院議員：今回、バックフィットを入
れたという趣旨はそういう趣旨であります。

★2009年原子力委員会が新しい耐震設計審査指
針を出した時に、原発を停止させないために、旧
指針も有効とした。このようなことが起きないた
めにも、バックフィットが必要。

■男女平等・避難の権利

◆参議院共生社会・地域活性化に関する調査 会 2012年4月18日

福島：女性の発言権が地域の中で認知されない一つ
の要因に、実態としては男性と変わらぬ働き手で
あっても、男女間の賃金格差や社会的地位での格

差の問題があると思います。産業経済活動での男
女平等、女性や若者の社会的地位の向上に資する
法制度の改革やすでに男女共同参画の視点で改め
られた法制度の周知、先進的な取り組みの普及な
ど、立法府、行政府の役割も問われていると思
います。

◆2012年6月14日 参議院震災復興特 別委員会（被災者支援法案の審議にて）

福島：避難の権利、家族やコミュニティを分断
されたり雇用や生活の不安に直面することなく避
難生活を送ることのできる権利で、政府、自治体
はそれを保障する義務を負うというふうに考
えております。子どもたちもちろんそうですが、大
人も含めたこの避難の権利、行政は避難者の生活
や生活必要物資の確保など責任を持って行うべき
だというふうにも思いますが、いかがでしょうか。

★避難の権利が入ったことは大きな一歩。予算を
獲得できるようがんばる。

■社会保障制度改革推進法案

◆参議院厚生労働委員会 2012年6月19日

福島：社会保障制度改革推進法案骨子を見ると、「自
助」「共助」「公助」、「家族相互の助け合い」「負担
の増大を抑制しつつ」などとあり、大変実は危機
感を感じています。家族が第一であることは論を
まちません。しかし、家族で面倒を見切れないか
ら子育て支援であり、介護の社会化であり、障害
者の皆さんの扶養義務を強調することは、家族の
障害のある子どもやいろんなものを抱えていけ
ということになるので、社会化することが第一であ
ったと、世帯単位から個人単位へ、あるいはおひ
と様仕様で介護保険もやるべきだという議論もあ
ります。



「若手と語る」をYouTubeの福島みずほチャンネルで始めました。

<http://www.youtube.com/FukushimaMizuho>



◆荻上チキさん（評論家）「困っている小さな声の見える化を」 検証重視の言論界を作るために「αシノドス」を立ち上げた。新たな企画は3つ。メルマガ「困ってるズ」は「見えない障がい」をコンセプトにお互いの困っていることをシェアする。「復興アリーナ」は、鳥瞰図と虫瞰図を結び、次の災害に備えた知見の共有。福島で配布されたチラシやパンフレットの電子化、記者が何を伝え、何を伝えられなかったのかのインタビューなど、教訓として残したい。これからは「政治メディア」を作りたい。



◆雨宮処凛さん（作家・活動家）
「貧困・脱原発」



◆大西連さん（自立生活サポートセンターもやい）「社会的包摂とは」



◆佐々木まことさん（福岡県・田川市議）「身近な病児保育などに尽力」



◆橋本美香さん（制服向上委員会会長）
「脱がない、媚びない、NOと言えるアイドル～制服向上委員会の生き残り戦略」



◆市来とも子さん（杉並区議）「民主党の多様性や歴史を生かし新しい活動とのつなぎ役に」



◆宮田まどかさん（北海道・釧路市議）
「子どもの自己肯定感を育む子育て支援を」



◆藤田たかひろさん（東京・国立市議）
「若者の雇用や子育て支援に取り組む」



◆深澤真紀さん（コラムニスト）「若者は世界に誇れる日本の財産」「草食系男子」を造語したために、今の若者はだらしない、内向きだと誤った認識が社会に蔓延してしまったが、それは誤り。若者は世界に誇れる日本の財産。

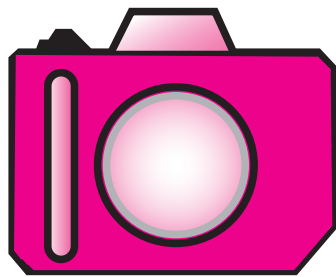
仕事も、運動も、恋愛も、同時進行でゆるーくやってもいいんだと思うようになって楽に。



◆須田光照さん（全国一般東京東部書記長）「雇用の劣化～職場のいじめ、退職トラブル」 1988年設立のNPO法人「労働相談センター」に寄せられる労働相談は年々増えているが、去年1年に7624件が寄せられた。内容は、賃金、解雇が不動の1・2位だったが、リーマンショック後は、解雇が1位になり、2位が賃金に。職場のいじめやパワーハラスメントが急増。



◆Sing J Roy（シング・ジェイ・ロイ）さん（レゲエシンガー）
「福井の原発を止めるために」



みずほ 写真館



脱原発世界会議の国会議員フォーラムで発言。(1月15日)



原発輸出阻止を求めるヨルダン国会議員と。
(1月17日)



4期目の党首選が終わり
記者会見。
(1月20日)



大逆事件から101年。
(1月24日)



さようなら原発集会代々木公園前街
宣。(2月11日)



上関原発建設反対中国電力
申し入れ。(2月21日)



社民党大会で団結ガンバロー！
(2月25日)



大飯原発再稼働反対集会。
(4月5日)



大飯原発再稼働官邸前アクション。
(4月6日)



さようなら原発1000万
人アクションデモ。
(3月24日)



脱原発をめざす女たちの会
「もう原発は動かさない」。
(4月7日)



樋口健二さんの写真展
に。(4月12日)



憲法記念日デモで。(5月3日)



脱原発デモに参加。(5月5日)



全原発が停まった日、経産省前テント広場で (shinya 撮影)。
(5月5日)



障がい者制度改革推進会議の議論を法律に生かしてほしいとアピール。(5月16日)



厚木基地爆音防止期成同盟の皆さんと防衛省と外務省に申し入れ。(6月1日)



脱原発をめざす女たちの会集会で挨拶。(6月2日)



沖縄県議会議員選挙応援。(6月4日)



アウンサンスーチーさんの誕生日パーティに参加。(6月7日)



官邸前ダイイン (Die-in: 参加者が地面に横たわるなど死体を模倣して行う抗議行動)。(6月7日)



大飯原発再稼働反対を福井県連の若山代表と記者会見で訴える。(6月8日)



官邸前アクションで。(6月22日)



経産省の北神圭朗大臣政務官に大飯原発再稼働反対の申し入れ。(6月26日)



大飯原発破砕帯現地視察。(6月27日)



大飯原発再稼働反対官邸前アクション。(7月6日)



超党派で官房副長官に大飯原発破砕帯再調査を申し入れ。(7月12日)

九州北部の豪雨の被害にあわれた皆さまに心からのお願いを申し上げます。社民党も視察団を出しました。早急に支援策をとりまとめ、しっかりと対応していきます。

■YouTubeの福島みずほチャンネル

YouTubeの福島みずほチャンネル (<http://www.youtube.com/FukushimaMizuho>)、社民党YouTubeで、昨年3月11日以降、43人の人々と脱原発をテーマに対談してきました。今まで登場下さったのは次の方たちです。ぜひ見て下さい。

田中優さん、飯田哲也さん、西尾漠さん、トーマス・ブリュアーさん、只野靖さん、日隅一雄さん、広河隆一さん、石橋克彦さん、崎山比早子さん、平田仁子さん、小出裕章さん、樋口健二さん、鎌田慧さん、鎌仲ひとみさん、広瀬隆さん、田中三彦さん、宮台真司さん、中手聖一さん、石丸小四郎さん、香山リカさん、武本和幸さん、辻信一さん、藤田和芳さん、松本哉さん、河合弘之さん、澤井正子さん、満田夏花さん、大島堅一さん、田辺有輝さん、高島美登里さん、小林圭二さん、阪上武さん、福田健治さん、スベン・テスケさん、高木久仁子さん、ヨアヒム・チルナーさん、ペーベル・ヘーンさん、エヴァ・ジョリーさん、山本太郎さん、鈴木倂介さん、津田大介さん、木村結さん、武藤類子さん。

■YouTubeで「若手と語る」対談も始めました

YouTubeの福島みずほチャンネル (<http://www.youtube.com/FukushimaMizuho>)、社民党YouTubeで、脱原発について語る対談と並行して、今回「若手と語る」対談を始めました。若手の論客、活動家、自治体議員などと雇用・貧困・政治・インターネット・原発・社会保障・人権・平和構築・若者など様々なテーマで対談しています。今まで登場下さったのは次の方たちです。荻上チキさん、橋本美香さん、須田光照さん、佐々木まことさん、市来とも子さん、藤田たかひろさん、宮田まどかさん、深澤真紀さん、Sing J Roy (シング・ジェイ・ロイ) さん、雨宮処凛さん、大西連さん。

私自身もとても触発されて、楽しいです。ぜひ見て下さい。また、こんな若手がいるよ教えて下さい。

■脱原発を実現しよう

- ①エネルギー・環境会議エネルギー基本計画で原発ゼロの選択を。
- ②原子力基本法、電気事業法、電源三法の改正。
- ③立地地域のための特別措置法。
- ④脱原発法を作る。
- ⑤再稼働、新規建設させない闘いを。

■脱原発をめざす女たちの会

脱原発をめざす女たちの会は、今年も11月23日、大きな集会を開きます。歌、スピーチ、現地からの声など有意義で、元気の出る集会にしたいと思っています。今から予定を入れて下さい。ぜひ来て下さい。

◆日時 2012年11月23日(金・祝) 午後1時半から

◆場所 明治大学アカデミーコモン(千代田区神田駿河台1-1)

■「原発いらない女たち、集まれ！」(仮称)

「原発いらない女たち、集まれ！」(仮称)を毎月1回やりましょう。

6月29日、参議院議員会館に、全国から多くの女たちが「一票一揆」をテーマに、脱原発で集まり、国会正門前でみなでスピーチをしました。福島県の武藤類子さんなどから「女たちが定期的に集まって、語って、歌ったり、踊ったりして元気になるといいね」という話があり、いろんな人と話をしてきました。

1か月に1度、女たちが集まって、脱原発のパワーを持続し、発揮していきましょう。毎週、金曜日の官邸前行動のように、定時に誰でも来て、脱原発の声を届け、脱原発を実現し、元気が湧いてくる集まりにしたいと思います。

第1回目は、8月29日(水) 午後3時から参議院会館で。できれば、毎月最終金曜日午後3時からにして、行きたい人は官邸前デモという案が今のところ出ています。

■偲ぶ会など

7月22日は弁護士の日隅一雄さんの偲ぶ会、7月29日は福井県で反原発、もんじゅ廃炉で40年以上闘ってきた小木曾美和子さんの偲ぶ会、9月18日は吉武輝子さんの偲ぶ会です。

■パーティ

議員になった時、1年に1回、活動報告などをするパーティを開こうと思いました。でも、2012年後半はいつ選挙になるかわからないので、2013年2月21日(木)にスクワール麹町で5000円の参加費でやることにしました。今からスケジュールをあけておいて下さいね。

■本を作っています

海渡雄一と一緒に原発の本を作っています。書名は『日本は変えられる 原発はとめられる』(仮題)。明石書店から出ます。

■選挙、選挙、選挙

素敵な人、素晴らしい人、脱原発の人を候補者にして選挙をたたかい、政治を変えたいと熱望しています。どんどん出て、政治を変えましょう！

みずほと一緒に国会へ行こう会をあらためてご支援願います

■福島みずほ事務所 〒100-8962

千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1111号室

電話:03-6550-1111 FAX:03-6551-1111

会費は1年間 3000円 です。

■会費・カンパの送り先

口座名称:みずほと一緒に国会へ行こう会

郵便振替口座:00140-6-34620

みずほ銀行麹町支店:普通1016663

※寄付金控除の申請書類が必要な方はご連絡下さい



■ツイッターアドレス twitter@mizuhofukushima

■YouTubeアドレス

<http://www.youtube.com/fukushimaMizuho>

■ホームページアドレス

<http://www.mizuhoto.org>

■E-mail mizuho-office@jca.apc.org

メールマガジン配信中! ぜひご登録を!

Twitterもやっています。ぜひフォロワーになってください!!

ボランティアスタッフ大募集!! あなたの力を貸してください!!